

2026年1月21日  
株式会社SVPジャパン

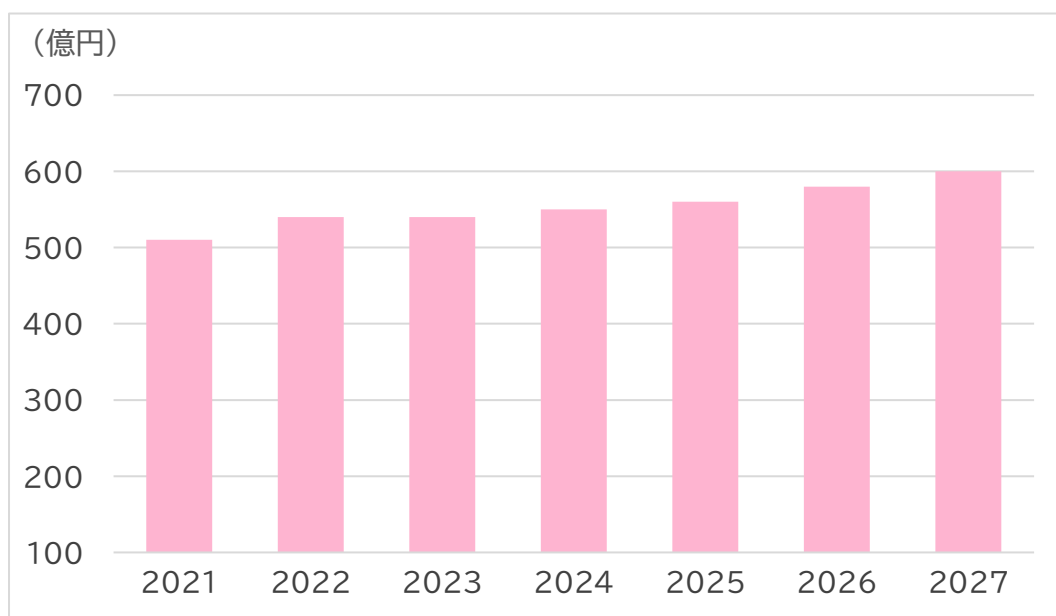
## SVP注目市場分析 「マッチングアプリ」を公開

～上位企業の寡占化とサービス差別化が進む競争環境～



会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「マッチングアプリ-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

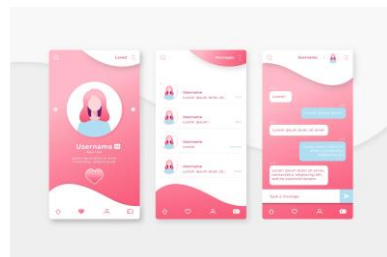
### ■ マッチングアプリの国内市場



マッチングアプリとは、スマートフォンやパソコンを通じて、恋愛や結婚を目的とした利用者同士を結びつけるオンラインサービスである。利用者は写真や自己紹介などのプロフィールを登録し、相互の同意を前提にメッセージのやり取りを行う仕組みで、近年は年齢確認や本人確認の徹底など、安全性向上への取り組みも進んでいる。国内市場は2010年代以降拡大し、コロナ禍を契機に利用が一般化した。2024年の市場規模は約550億円と推定され、成長率は落ち着きつつも堅調に推移している。自治体による婚活支援での活用や、中高年層・再婚層向けサービスの拡充を背景に、さらなる成長が見込まれ、出会いの社会インフラとしての役割は今後さらに高まる見通しである。

## ■ マッチングアプリの市場概況

国内のマッチングアプリ市場は、先行して利用実績を積み上げ、「Pairs」を運営するエウレカ、with、タプルの上位3社が牽引している。登録者数が多いほど競争力が高まる特性から、登録者の少ないサービスは淘汰が進み、利用者増加の落ち着きとともに新規参入も減少しているため、今後は上位企業へのシェア集中が進む見通しである。「Pairs」は、国内最大級のサービスに成長しており、機能開発と自治体連携を強化。withは心理学・統計学に基づくマッチングを訴求、タプルは気軽な出会いと即時性を軸に差別化している。その他、年齢層・目的特化型サービスを特徴とする企業や、異業種の参入も見受けられる。今後は利用目的に応じた棲み分けが進むとみられ、競争環境は成熟局面に入りつつある。



## ■ 本レポートの構成

- I. 市場の定義
- II. 市場動向
- III. 市場規模・予測
- IV. マーケットシェア
- V. 参入企業の動向
- VI. 業界構造



←レポート全編を見る クリック

※本サービスのご利用は、  
SVP会員様限定でございます。

## ■ 購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。

購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購入いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ



## ■ 次回のテーマ

2月のテーマは「ポイント消費」と「調理ロボット」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール…毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

### [会社概要]

社名 : 株式会社SVPジャパン  
代表取締役 : 橋本 雅  
所在地 : 東京都中央区日本橋蛸殻町1-38-9 宮前ビル2F  
設立年月日 : 1974年7月1日  
事業内容 : 会員制のビジネス情報提供サービス  
URL : <https://www.svpjapan.com/>

### [本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン DX推進部 デジタルマーケティング課  
[info@svpjapan.com](mailto:info@svpjapan.com)